

生薬「牛胆汁エキス末」の高騰 動物性生薬に共通する世界情勢と 「熊胆圓」等の生薬製剤の行方

発行：日本置き薬協会 事務局



弊社（内外救急薬品）へ「真光赤玉はらぐすり」を納入頂いている渡辺薬品工業株式会社（富山市水橋）より、11月末、「原料及び資材の価格高騰に伴う価格改訂について」と記された依頼文が届いた。その文書に同封されていたのは、配合の「牛胆汁エキス末」供給元の日本粉末薬品株式会社、及び資材の印刷会社・富山スガキ株式会社の値上げ通知文。資材は、化粧箱や集合箱、添付文書であり、紙類の仕入先の製紙会社の値上げ圧力に抗しきれないとの事で、これは昨今の経済ニュースで知るところだが、牛胆汁エキス末が値上がりするとは、初めて知った。

日本粉末薬品株式会社の文面の一部を掲載すると、「現在の牛胆汁エキスはブラジルより購入しております。ゴオウと同様に、ブラジルでの牛の屠殺数量が大幅に減少しており、屠殺量の回復が当面見込めない状況であり、それに伴い牛胆汁エキスも大幅な価格上昇になっており原料の入手が大変困難な状況が続いております。また、最近では海外での牛胆汁エキスの引き合いが強いという情報も入っております。海外では牛胆汁エキスからコール酸を取る目的で牛胆汁エキスの購入を行っており、牛胆汁エキスの使用数量が急激に増加していることも価格高騰の要因になっております。貴社におかれまして大変ご迷惑をお掛け致しますが、現状をご理解賜りますようお願い申し上げます。今後も現在の購入元以外にも牛胆汁エキスを製造している先を確保し、安定供給に努めたいと考えております」。

渡辺薬品工業株式会社の担当者に問い合わせると、「牛胆汁エキス末」は「真光赤玉はらぐすり」が発売された平成12年と現在では、納入価格は徐々に高騰し3倍になったという。同様な状況はゴオウでも見られることであり、昨年2月号のニュースリリースでは、「黄色いダイヤ牛黄 価格高騰が及ぼす黄信号 配置薬製品価格上昇の傾向」として発表させて頂いた。両者は、工業製品ではない限られた資源であり、供給量の減少と需要量の拡大が要因であるにせよ、背景にはBSEによる産地規制や中国経済の拡大等がある。



同様な牛胆汁（動物胆）を配合した「熊胆圓」は、富山県の配置薬メーカーの看板商品の一つであり、古くから所謂「胃弱」や腸内環境を整える薬、また飲み過ぎ、食べ過ぎ、二日酔い防止として愛用者も多い。

「良薬は口に苦し」は、この牛胆汁や熊胆の服用時の苦みを標榜するものであり、特徴でもある。売上減少の折、メーカー、販売業者も生薬高騰の苦さを噛みしめながら、配置業界を継続していかねばならない。

真光赤玉はらぐすり成分（1日量45錠中、1包15錠、6包入り600円）タンニン酸ベルベリン 3,000mg、牛胆汁エキス 108mg（原生薬換算量 1,440mg）、センブリ末 50mg 効能又は効果 下痢、消化不良、食あたり、くだり腹、軟便 **熊胆圓S成分**（1日量3個中、2個入り300円）オウゴンエキス 11.2mg、オウバクエキス 49.4mg、センブリエキス 14mg、ゲンチアナエキス 62mg、タチイエキス 40mg、ウコンエキス 28mg、アロエ 150mg、動物胆 50mg、アマガサエキス 275mg 効能又は効果 食欲不振、胃部・腹部膨満感、消化不良、胃弱、食べ過ぎ、飲み過ぎ、胸やけ、もたれ、胸つかえ、はきけ（むかつき）、嘔吐、整腸、軟便、便秘

本件に関するお問合せ先 **日本置き薬協会 事務局**

〒332-0034 埼玉県川口市並木2-30-6 内外救急薬品内
Tel 080-5514-7511（有馬） fax 048-251-9657